

# 春日井市落合公園利活用方針

## 1 目的

本市の暮らしの魅力の向上を図り、持続可能なまちへと発展するため、本市を代表する落合公園の魅力を高め、これまで以上に親しまれる公園とする。

## 2 利活用の方向性

### (1) 民間事業者との連携による賑わいづくり

トライアル・サウンディングの検証結果などでは、民間事業者は、施設の立地条件や来場者数などから、施設整備への投資を伴う事業には大きなリスクを感じている。その一方で、施設整備の伴わない短期的なキッチンカーの出店やイベントの実施などは参画の意欲が高いため、民間事業者と連携した賑わいづくりを図る。

### (2) 施設機能の充実

子ども屋内遊び場「ぐりんぐりん」のオープンに伴い、子育て世代の来園者が増加していることを踏まえ、子育て世代が屋外でもより楽しめる機能の導入を図り、子どもの笑顔があふれるまちをめざす。

### (3) 施設の改善

老朽化した施設の改善や段差の解消など、誰もが安全・安心で快適に過ごすことのできる空間を創出する。

## 3 具体的な取組

民間事業者の参画意欲の向上を図るとともに、子育て世代を始めとする多くの方に親しまれる公園とするため、トライアル・サウンディングでのヒアリングやアンケート結果などから、美しい公園の景観や静かな環境の保全をしつつ、魅力を高める取組を推進する。

### (1) イベントスペース等に活用が可能な空間創出

定期的なイベントの実施に向けて、催事に適したスペースや客席となる大芝生広場、遊具施設など一体的な広場空間を創出する。

### (2) 施設内での飲食販売

イベントスペース周りでキッチンカー等による飲食の提供を創出する。また、公園管理棟やカナディアンハウス、フォリー水の塔を活用し、カフェ等の飲食施設や物販施設等を検討する。

(3) 電源施設や手洗い施設の充実

様々なイベントの実施に活用できるコンセント盤等のインフラ施設や手洗い場を増強するなど、利用者の衛生確保や利便性の向上を図る。

(4) 充実した遊具施設

保護者の見守りスペースや休憩のできるベンチ、日よけ屋根、インクルーシブに配慮した空間とするなど、子育て世代が快適に過ごせるよう公園規模に適した遊具広場を創出する。

(5) 水遊びのできる親水施設

水景施設だけではなく、子ども達が水遊びのできる親水空間を創出する。

(6) 施設の用途変更

利用が少ない施設を臨時駐車場等に見直すなど、利便性やサービスの向上の観点から、施設の用途変更を検討する。

(7) トイレのユニバーサルデザイン化

トイレの洋式化による衛生面や快適性の向上とオストメイト設備や乳幼児用のベッドなど、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮する。

(8) 駐車場のユニバーサルデザイン化

駐車場内の歩道園路の段差の解消や思いやり駐車場など、利便性の向上を図るとともに、駐車マスの配置の見直しや余地等の廃止により、駐車効率の向上を図る。

4 今後の進め方

令和5年度の落合公園再整備基本設計において、より具体的な整備の方向性を決定する。